

リーディングDXスクール事業【実践事例】

川西町立川西小学校（奈良県）

【取組内容】 他者参照による理解の深化と情報活用能力の育成

～自動車工業のさかんな地域～

川西小学校5年生 社会

I. 日本の自動車工業について、ICT機器を活用しながら学習問題の解決に向けて意欲的に追求するとともに、学習したことを基に未来の自動車とよりよい社会について考える。単元に入る前に、Googleフォームでアンケートを行い、社会科への授業、協働的な学習への取組について意識調査を行う。

表 社会科の学習アンケート(N=23)

質問	当てはまる	少し当てはまる	少し当てはまらない	当てはまらない
1 社会の授業は好きですか。	20%	45%	25%	10%
2 社会の授業は大切だと思いますか。	85%	15%	0%	0%
3 社会の授業の内容はよくわかりますか。	60%	35%	5%	0%
4 社会の授業で学習したことは将来役立つと思いますか。	80%	20%	0%	0%
5 まとめる活動のときに、友達と考えを出し合いながら活動することができましたか。	55%	35%	10%	0%
6 社会科で学んだことをまとめる活動に、意欲的に取り組むことが	55%	30%	15%	0%



II. 授業への意識調査では概ね、社会科が好きで将来の役に立つと認識を持っているが、まとめの活動において、考えを出し合いながら意欲的にまとめたり、発表することに自信がない結果が出たため、端末による調べ学習で得た情報を積極的に共有し、協働的な学びを行い、意見共有のハードルを下げる。

III. 世界に愛される自動車作りとしての要素を、「安全」「環境」「福祉」「自由・感動」で分類分けし、各要素で必要な意見を出し合ってスプレッドシートで共有し、視覚的に解りやすく帯グラフを作る。クラス全体で共有し、友達の意見を自分の結果に再反映させ、変わった部分や理由を再び共有し、改めて単元の目標を自覚させ学びを深める。

